

# ものづくり産業の総合的支援拠点「開設」

地方独立行政法人  
東京都立産業技術研究センター

理事長 片岡 正俊



東京都立産業技術研究センター(都産技研)は、都内の中小企業の技術支援を行う機関です。平成22年度には約6,400社の中小企業にご利用いただき、依頼試験100千件、機器利用44千件、技術相談92千件の実績をあげております。

また、3月の東日本大震災に対応した復興支援事業として、放射線測定支援、省エネ節電技術支援、さらには被災地企業への料金減免などを実施しておりますので、ますますのご活用をお願いいたします。

さて、このたび東京都の産業支援拠点再整備事業の一環として、臨海副都心に新たな本部を開設することになりました。ますます厳しくなる経済情勢のもと、従来以上に中小企業の技術支援を拡充する予定です。東京の中小企業が大企業の下請けとして生き残るのはもはや難しく、これからは高付加価値の先端製品を自前で開発し、ビジネスを展開していく必要があります。この新本部では、こうした開発型の中小企業を支援するべく、3つの技術支援セクター、「高度分析開発セクター」、「システムデザインセクター」、「実証試験セクター」を開設します。さらには、24時間利用可能な製品開発支援ラボも多数設置いたします。また、研究開発面からの支援として、4つの成長分野、「環境・省エネルギー」、「EMC・半導体」、「メカトロニクス」、「バイオ応用」の研究開発に重点的に取り組み、成果を中小企業に還元してまいります。



都産技研はこうした高い技術力で、プロダクトイノベーションの発信拠点として、ものづくり産業を中心にサービス産業等ものづくり関連産業の中小企業支援も拡充してまいります。従来にも増して、多くの中小企業の皆様のご利用をお待ちしております。